

経営戦略と連動し、グループ価値を最大化する人的資本経営の推進

人的資本経営の基本的な考え方

少子高齢化に伴う労働力人口の減少により、「人手不足」が企業の事業継続性に与える影響は小さくありません。このような状況において、人的資本の重要性はこれまで以上に高まっています。当社グループは、100社超・約3万人もの社員から構成されており、社員の知識、スキル、意欲を「人的資本」と捉え積極的に投資しています。これにより、経営基盤を強化し、グループ総合力の最大化を図り、絶え間ない価値創造を続ける人財集団への変革をめざします。

当社グループにおける「人的資本経営」とは、「2030年にありたい姿」「GROUP VISION 2030」そして「中期経営計画2030」の実現に向け、経営戦略と連動した人財戦略を実行することで、持続的な価値向上に取り組むことを指しています。

新たに策定した 人財・組織風土ビジョン

「中期経営計画2030」においては、人的資本経営を推進するために、「人財」「組織風土」の2つの観点でビジョンを定めています。

「人財」については、「3万人が成長し続ける人財ポートフォリオ」の構築を掲げ、中期経営計

画の推進をリードする経営人財や事業変革人財の計画的な育成、および管理運営事業に不可欠なエッセンシャル人財が活躍する持続的な体制の構築をめざします。グループ各社の個別最適だけでは達成できない、広域渋谷圏戦略やグローバルビジネスといった重点テーマに取り組むうえで必要となる人財の育成を強化します。

「組織風土」に関しては、「創意工夫し続けるクリエイティブなカルチャー」の醸成を掲げました。これは、心理的安全性・DE&Iを基盤とし、グループが相互に連携しながら、社会課題に挑戦し続ける組織風土づくりを指しています。社員一人ひとりが「挑戦するDNA」を体現できるように、働く環境や仕組みを整備していきます。

この人財・組織風土ビジョンを実現するために、従来進めてきた3つの人財戦略も継続して取り組むとともに、人的資本への投資を強化していく方針です。具体的には、採用・研修・風土醸成への投資や、物価上昇を超える処遇向上、福利厚生の実施を行い、従業員体験（EX）の向上をめざしています。これが社員の高いパフォーマンスを引き出し、得られた成果を再び人的資本投資に還元するという好循環を生み出すことで、持続的な企業価値の向上を図っていきます。

2030年に
ありたい姿

「誰もが自分らしく、いきいきと輝ける未来」

GROUP VISION
2030

強固で独自性のある事業ポートフォリオの構築

・全社方針：環境経営／DX ・事業方針：知的資産活用／パートナー共創

中期経営計画
2030

ビジネスエコシステムを通じたプレミアムな価値創出

・広域渋谷圏戦略の推進 ・GXビジネスモデルの確立 ・グローバルビジネスの拡大

東急不動産ホールディングスグループの人的資本経営

人財理念

すべての従業員が「挑戦するDNA」と「社会に向き合う使命感」をもち、サステナブルな社会づくりと成長を目指します

人財・組織風土ビジョン

3万人が成長し続ける
人財ポートフォリオ

創意工夫し続ける
クリエイティブなカルチャー

人財戦略

価値を創造する
人づくり

多様性と一体感のある
組織づくり

働きがいと
働きやすさの向上

人的資本投資の強化

採用・研修・風土醸成
約130億円^{※1}
[前中計期間比 1.5倍／年以上]

+

・物価上昇を超える処遇向上^{※2}
・福利厚生の実施

持続的な企業価値向上

従業員体験（EX）・パフォーマンスの向上

アウトカム

2030年
価値を創造し続ける
企業グループ

生産性が高く、広く社会に貢献する人財を輩出

こころもからだも健康に、
モチベーションと志をもって働ける環境を実現

※1. 主要会社の本計画の期間累計額 ※2. グループとしての賃金処遇方針